

令和4年第3回定例会

9月2日～9月9日（8日間の会期）

全議案・原案可決

令和4年第3回定例会におきましては、一般質問の一人当たりの持ち時間を通常の最大60分で実施し、議場傍聴につきましても、感染予防対策をお願いしたうえで、人数を先着25名に制限させていただき、実施いたしました。

住民の皆様には、ご理解ご協力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。



決算特別委員会を進行する
木村 信一 委員長

決算特別委員会報告

9月2日開会初日、本会議に提案された令和3年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月6日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月9日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月26日(木)・8月25日(木)に、令和3年度境町一般会計及び特別会計7件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、前年度より交付税収入等が増額となり、新型コロナウイルスワクチン接種対策として活用した負担金補助金、地方創生拠点整備交付金等の増収により、これらの財源を活用した施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が伺え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減と

なったものの、保険者努力支援金等の獲得により、順調に業務が遂行出来ていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画に基づき、効率的な整備に努めていきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、当期純利益は過去20年で最大となるが、反面老朽化による修繕費等の増加が懸念されることから計画的な修繕に務められた。

今後は、人口減少に伴う収益減が予想されるなか、計画的に設備投資を行い、安心・安全に利用できる水道水の安定供給を図られるよう要望する。